



平成29年1月17日
港湾局産業港湾課

2016年の訪日クルーズ旅客数とクルーズ船の寄港実績(速報値)

2016年(1月～12月)の訪日クルーズ旅客数は前年比78.5%増の199.2万人、クルーズ船の寄港回数は前年比38.8%増の2,018回となり、いずれも過去最高を記録しました。

クルーズ船は、寄港地を中心に一度に多くの観光客が訪れ、グルメ、ショッピングなど地域での消費が生まれるとともに、外国人観光客との交流が進展するなど、地方創生に大きく寄与します。

国土交通省では、「明日の日本を支える観光ビジョン」(2016年3月30日)に掲げられた目標である「訪日クルーズ旅客を2020年に500万人」の実現に向け、今後も引き続きクルーズ振興に取り組んでまいります。

1. 訪日クルーズ旅客数について

我が国へクルーズ船で入国した外国人旅客数(訪日クルーズ旅客数)^{注1}は、2015年に約111.6万人と初めて100万人を突破したところ、2016年は、前年比78.5%増の約199.2万人と更に大きく増加し、過去最高を記録しました。(図表1)

2. クルーズ船の寄港回数について

2016年のクルーズ船の我が国港湾への寄港回数^{注2}は、前年比38.8%増の2,018回(外国船社1,444回、日本船社574回)となり、過去最高を記録しました。(図表2)

港湾別では、**第1位：博多港328回**(前年第1位：259回)、**第2位：長崎港197回**

(前年第2位：131回)、**第3位：那覇港193回**(前年第4位：115回)となりました。

(図表3)

外国船社及び日本船社が運航するクルーズ船の寄港回数^{注2}は、以下のとおりです。

(1) 外国船社が運航するクルーズ船の我が国港湾への寄港回数について

外国船社が運航するクルーズ船の我が国港湾への寄港回数^{注2}は、中国からのクルーズ船の寄港増加などから、**過去最高の1,444回**となりました。(図表2)

港湾別では、**第1位：博多港312回**(前年第1位：245回)、**第2位：長崎港190回**(前年第2位：128回)、**第3位：那覇港183回**(前年第3位：105回)となりました。(図表4)

(2) 日本船社が運航するクルーズ船の我が国港湾への寄港回数について

日本船社が運航するクルーズ船の我が国港湾への寄港回数^{注2}は、**574回**となりました。(図表2)

港湾別では、**第1位：横浜港87回**(前年第1位：88回)、**第2位：神戸港72回**(前年第2位：55回)、**第3位：名古屋港31回**(前年第3位：30回)となりました。(図表5)

(脚注)

注1 法務省入国管理局の集計による外国人入国者数の速報値で概数(乗員を除く)。

注2 本調査では、船内で1泊以上するクルーズ船の寄港回数を対象とし、日帰りクルーズは対象外とした。また、寄港回数には沖に停泊して乗客が通船で上陸した場合も含む。

【問い合わせ先】

国土交通省港湾局産業港湾課 伊藤、中野、下岡

電話 (代表) 03-5253-8111

(内線46-422、46-423)

(直通) 03-5253-8672

(FAX) 03-5253-1651